

クラス番号	311	担当教員名	角崎洋平
		他専修学生受入上限人数	2名
テーマ	公共政策のマネジメント実践と研究		

ゼミナール概要

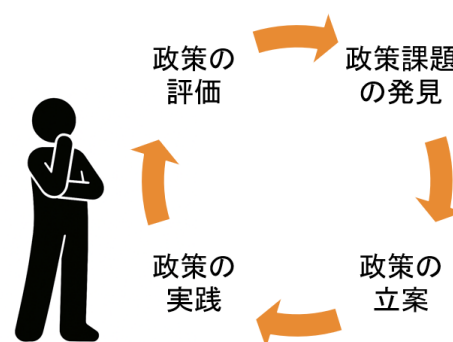
■ 目的

公共政策（もしくは社会課題解決につながるプロジェクト）を構想・実施・評価する力を身に着ける。

■ 内容

公共政策（福祉政策、経済政策、地域政策など）のマネジメントとは以下の政策のプロセスを段階的に運営していくことを指します。

- ① 市民・住民が抱える問題を政策課題として把握する
- ② 政策課題を適切に解決するための政策を立案する
- ③ 計画した方法に基づいた効率的な政策を実施する
- ④ 実施した政策の事後評価を行い、残された課題を確認する



このゼミでは、こうした政策マネジメントに、実際に取りくむとともに、そこから見えてきた課題等を踏まえた政策研究（政策の評価・分析）も行います。

■ 授業計画

□ 3年次授業計画【公共政策マネジメントの実践】

- ・「東海市大学連携まちづくり推進事業」に応募して、東海市から補助金を獲得して、地域の課題解決につながる事業を立案・実施することを目指します。取り扱う地域課題はゼミ生で議論をして決定しますが、みなさんの2年生までの活動の延長でもよいですし、新規の課題でもよいです。これまで東海市以外の地域やってみた活動を東海市で実践してみる、というのもOKです。
- ・行政からの補助金を前提としたプロジェクトを考え、実践するなかで、政策の構想力や実践力だけでなく、企画書の作り方、予算の立て方、地域（自治体・社協・コミュニティ等）と連携する技法や姿勢を学びます。
- ・並行してテキストを講読して政策評価の方法を学び、最終的には自分たちが実施したプロジェクトの評価報告書を作成することで、政策評価の基本も実践的に学びます。

□ 4年次授業計画【公共政策の分析と評価】

- ・前半は、各自が自分の関心から、特定の公共政策（プロジェクト）を自由に選定し、任意の公共政策（プロジェクト）の、形成過程・実施状況・現状の課題をまとめ、報告します。そして、ゼミ内でディスカッションしながら、卒業論文のテーマや研究方法、論文のアウトラインを固めます。
- ・夏休み中に、任意の公共政策（プロジェクト）を分析・評価する卒業論文の完成を目指し、4年後期には各自の卒業論文（政策研究）の発表やゼミ内での相互評価を行います。

■ その他留意事項

- ・年間で複数回、懇親会を開催します（参加は強制しませんが、ゼミ生間の「横のつながり」、先輩との「縦のつながり」を大事にしたいと思っています）。

担当教員からのメッセージ



政治や行政や政策、国や自治体、コミュニティの在り方について、何か不満がある人、理不尽だと思っていることがある人、こうしたらいいのに...がある人、そして現在の地域や社会を少しでも改善したいと思っている人を歓迎します。エントリーシートでは志望動機とともに、なんでもいいので、政治・政策・行政・地域について、思っていることを書いてみてください。「福祉」についての不満でもよいです。大学とか税金とかバイト（労働）とか家族とか、身近な「生きづらさ」に関することでもよいです。ゼミでは、みなさんが、そうした不満・理不尽・生きづらさを言語化したり、一步引いて客観的に分析したりする手伝いをしたいと思っていますし（だからいま時点ではうまく文章を書けなくてもよいです）、それを少しでも改善するための方法をみんなで考えていく場にしたいと思っています。